

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「交通安全教室」

学校・園名

School name

東近江市立湖東第三小学校
(全学年児童)

講師等

Lecturer etc.

公益財団法人
滋賀県交通安全協会

実施日

Date

平成24年5月7日

教科等

Subject etc.

特別活動(学校行事)

授業

Class

今回は、低、中、高学年に分けて、命を守る学習(主に自転車による交通安全)のお話をさせていただきました。交通安全を学ぶことは「自分の命を自分で守る」ことにつながります。

自転車の点検は「ブタはしゃべる(ブレーキ、タイヤ、ハンドル、車体、ベルの頭文字)」をキーワードに、自転車のそれぞれの点検のポイントを教えてくださいました。また、歩行者と自転車がぶつかりそうになるなどの危険な場面を想定し、寸劇などを入れてわかりやすく実演指導をしてくださいました。

中、高学年は、他に、児童の代表が“自転車シミュレーター”を使い、様々な交通の場面を模擬体験しました。まわりの児童も、画面を見ながら、様々な危険について考えました。



感想

Impression

児童より Impression from Children

- 事故にあわないようにしたいです。
- 自転車の乗り方を教えてもらってよくわかりました。
- 自転車の乗り方で危ないことがあることがわかりました。
- 「ブタはしゃべる」がとても勉強になりました。
- 人にぶつかるのは危険だと思いました。
- シミュレーターがおもしろかったです。
- 音楽を聴きながら、自転車に乗ってはいけないことを知りました。
- 点検をしなればいけないことがわかりました。

学校より Impression from school

- 何回か打ち合わせをさせていただいて、教師側が見通しをもってできたと思います。子どもたちにわかりやすく教えていただいていたことが良かったです。
- 交差点の横断は、自転車に乗る場合と、そうでない場合の違いがはっきりわかるとよかったです。
- シミュレーターの様子が見えにくかったのは残念でしたが、自転車の乗り方等の実演によって、子どもたちにわかりやすく説明していただいていたことが良かったです。

講師より Impression from lecturer

地元の警察官の方も来られていて、良かったと思います。私たちが行う交通安全教室だけで終わるのではなく、これをいい機会として、事前にまたは事後に、身近な道路で気をつけなければいけない場所などを、みんなで考えていただくという時間が、学校であればいいと思います。